【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和6年7月24日(2024.7.24)

【国際公開番号】WO2023/149152
【出願番号】特願2023-578426(P2023-578426)
【国際特許分類】
*Ｆ１６Ｆ　9/54(2006.01)*
*Ｆ１６Ｆ　9/50(2006.01)*
*Ｂ６０Ｇ 13/08(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｆ　9/54
Ｆ１６Ｆ　9/50
Ｂ６０Ｇ 13/08

【手続補正書】
【提出日】令和6年4月22日(2024.4.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
緩衝器であって、該緩衝器は、
筒状のシリンダと、
前記シリンダの径方向外側へ突出するように設けられる突出部と、
前記シリンダの外周に設けられるブラケットと、
を備え、
前記ブラケットは、円筒部の周方向に第１端部と第２端部とを有し、該円筒部の軸方向断面がＣ字状に形成されると共に前記シリンダの外周を被う前記円筒部と、
前記円筒部の第１端部と第２端部とから該円筒部の径方向外側へ対向して延びる一対の延出部と、
前記円筒部に設けられ、前記円筒部の径方向外側に前記突出部を挿通させる第１孔と、
前記円筒部に設けられ、前記第１孔と離隔して配置される第２孔と、
前記第１孔と前記第２孔との間に形成され、前記円筒部の軸中心に対して前記一対の延出部と反対側に設けられる、少なくとも一部の幅が狭くなる縮幅部を有する背渡し部と、
を備え、
前記縮幅部は、前記突出部から前記円筒部の周方向に設けられることを特徴とする緩衝器。
【請求項２】
請求項１に記載の緩衝器であって、
前記背渡し部の径方向外側には、固定部材が設けられることを特徴とする緩衝器。
【請求項３】
請求項２又は３に記載の緩衝器であって、
前記固定部材は、前記背渡し部の少なくとも一部の幅が拡くなる拡幅部に設けられることを特徴とする緩衝器。
【請求項４】
請求項１乃至３のいずれか１項に記載の緩衝器であって、
前記一対の延出部には、棒状部材が挿通可能な第１延出部孔と、前記第１延出部孔と離

隔して配置され、棒状部材が挿通可能な第２延出部孔とが形成され、
前記背渡し部の少なくとも一部は、前記第１延出部孔の軸中心位置に対して前記円筒部の軸方向と略水平位置に配置されることを特徴とする緩衝器。
【請求項５】
請求項４に記載の緩衝器であって、
前記背渡し部は、前記第１延出部孔の軸中心位置に対して前記円筒部の軸方向と略水平位置において前記円筒部の軸方向に延びるストレート部であることを特徴とする緩衝器。
【請求項６】
請求項１乃至５のいずれか１項に記載の緩衝器であって、
前記背渡し部は、前記第１孔と前記第２孔との間に形成されると共に、前記円筒部の第１端部と第２端部との間の中心位置に対して前記円筒部の周方向反対側に設けられることを特徴とする緩衝器。
【請求項７】
緩衝器であって、該緩衝器は、
筒状のシリンダと、
前記シリンダの径方向外側へ突出するように設けられる突出部と、
前記シリンダの外周に設けられるブラケットと、
を備え、
前記ブラケットは、円筒部の周方向に第１端部と第２端部とを有し、該円筒部の軸方向断面がＣ字状に形成されると共に前記シリンダの外周を被う前記円筒部と、
前記円筒部の第１端部と第２端部とから該円筒部の径方向外側へ対向して延びる一対の延出部と、
前記円筒部に設けられ、前記円筒部の径方向外側に前記突出部を挿通させる第１孔と、
前記円筒部に設けられ、前記第１孔と離隔して配置される第２孔と、
前記第１孔と前記第２孔との間に形成され、前記円筒部の軸中心に対して前記一対の延出部と反対側に設けられる背渡し部と、
前記円筒部の径方向外側に設けられ、前記円筒部から前記延出部にかけて形成される補強部と、
を備え、
前記第１孔又は前記第２孔の少なくとも一部は、前記円筒部の周方向において前記補強部まで形成され、前記補強部の、前記円筒部の軸方向の端部の間で形成されていることを特徴とする緩衝器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明の緩衝器は、筒状のシリンダと、前記シリンダの径方向外側へ突出するように設けられる突出部と、前記シリンダの外周に設けられるブラケットと、を備え、前記ブラケットは、円筒部の周方向に第１端部と第２端部とを有し、該円筒部の軸方向断面がＣ字状に形成されると共に前記シリンダの外周を被う前記円筒部と、前記円筒部の第１端部と第２端部とから該円筒部の径方向外側へ対向して延びる一対の延出部と、前記円筒部に設けられ、前記円筒部の径方向外側に前記突出部を挿通させる第１孔と、前記円筒部に設けられ、前記第１孔と離隔して配置される第２孔と、前記第１孔と前記第２孔との間に形成され、前記円筒部の軸中心に対して前記一対の延出部と反対側に設けられる、少なくとも一部の幅が狭くなる縮幅部を有する背渡し部と、を備え、前記縮幅部は、前記突出部から前記円筒部の周方向に設けられることを特徴とする。
また、本発明の緩衝器は、筒状のシリンダと、前記シリンダの径方向外側へ突出するように設けられる突出部と、前記シリンダの外周に設けられるブラケットと、を備え、前記

ブラケットは、円筒部の周方向に第１端部と第２端部とを有し、該円筒部の軸方向断面がＣ字状に形成されると共に前記シリンダの外周を被う前記円筒部と、前記円筒部の第１端部と第２端部とから該円筒部の径方向外側へ対向して延びる一対の延出部と、前記円筒部に設けられ、前記円筒部の径方向外側に前記突出部を挿通させる第１孔と、前記円筒部に設けられ、前記第１孔と離隔して配置される第２孔と、前記第１孔と前記第２孔との間に形成され、前記円筒部の軸中心に対して前記一対の延出部と反対側に設けられる背渡し部と、前記円筒部の径方向外側に設けられ、前記円筒部から前記延出部にかけて形成される補強部と、を備え、前記第１孔又は前記第２孔の少なくとも一部は、前記円筒部の周方向において前記補強部まで形成され、前記補強部の、前記円筒部の軸方向の端部の間で形成されていることを特徴とする。